

報道関係者各位

2007年8月8日

森ビル株式会社

子どもたちがヒルズで水資源の大切さを体験学習

「六本木ヒルズの水の“ヒミツ”探検ツアー」を初開催

森ビル株式会社（東京都港区 代表取締役社長 森 稔）は、小学生向けの体験学習イベント「六本木ヒルズの水の“ヒミツ”探検ツアー」を、8月1日、8月2日の2日間、六本木ヒルズで開催しました。

当社は、都市再開発におけるスケールメリットを生かし、資源の有効活用に積極的に取り組んでいます。

当社の環境に対する取り組みを広く知っていただくことを目的に、このたび小学生向け体験学習ツアーを、初めて開催いたしました。8月1日の「水の日」に合わせ、六本木ヒルズの水資源の有効活用について、普段見ることができない施設内部を特別公開し、親子で楽しみながら学習するとともに、小学生の夏休みの自由研究のテーマとしても活用できるよう、企画いたしました。

このツアーでは、六本木ヒルズで実践している節水のための取り組みとして、雨水を有効活用する冷却装置、中水（六本木ヒルズ内の雑排水を処理し、トイレの洗浄水として再利用する水）を生成するためのろ過処理設備、震災用井戸の見学など、“水”に関する設備や取り組みを見学・体験してもらい、水資源の有限性や水の貴重さを学んでもらいました。2日間で、小学生23名とその保護者18名の計41名が参加しました。



震災用井戸で、六本木ヒルズの地下水を体験



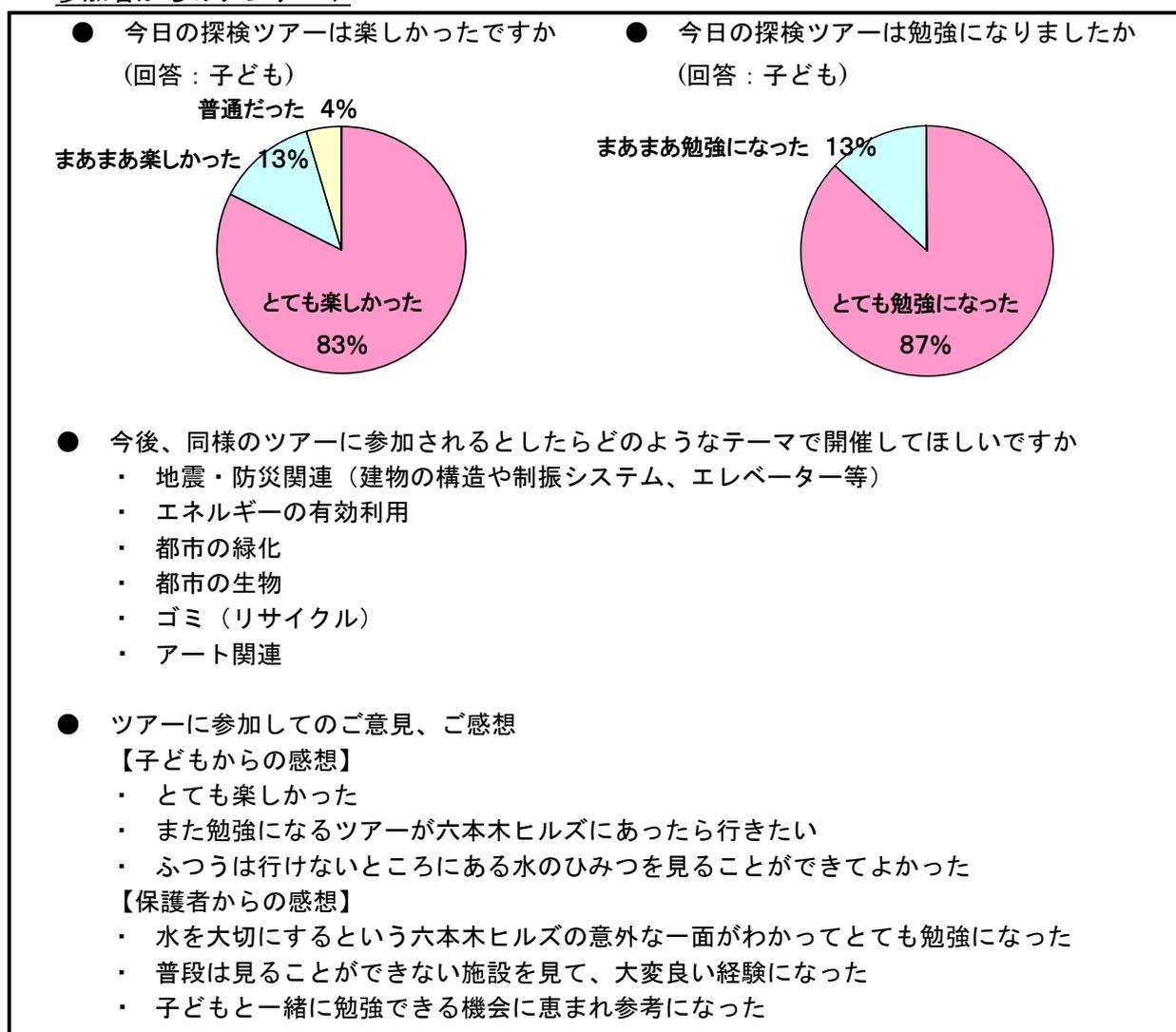
雨水を利用している大型冷却塔の冷却水を触って、温度の変化（冷却効果）を確認



中水プラントのろ過設備を見学して、その機能を勉強

「六本木ヒルズでは雨水や中水を有効活用する取り組みにより、お風呂 150 万杯分（約 28 万トン）程度の水が 1 年間で節水できている」との説明に、子どもたちは驚きの声を上げていました。また、今回参加した子どもたちの大半が「井戸を一度も見ることがない」と答えています。現代の都会暮らし生活において、六本木ヒルズの震災用井戸から汲み上げる地下水に触れることは貴重な体験となったようです。子どもたちは井戸の仕組みと併せて災害時の水の大切さを改めて学んでいました。

参加者からのアンケート



当社では、今後も環境に配慮した街づくりに取り組んでいくとともに、これらの取り組みやノウハウを、地域住民や次世代を担う子どもたちと共有し社会に還元していくため、このような体験学習の機会を継続して提供する予定です。今後は“環境”のみならず、当社が街づくりのミッションとして取り組む“文化”や“安全”といったテーマでも、体験学習ツアーを企画・実施していきます。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 野村・深野・一木

TEL : 03-6406-6606

FAX : 03-6406-9306

E-mail : koho@mori.co.jp